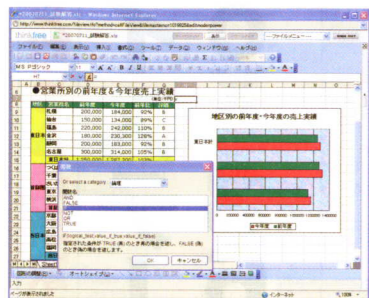


ワープロ・表計算ソフトとしての機能

ビジネス文書を作成するうえでは必ずこのできないワープロ、表計算ソフト。用途によって必要な機能は異なるが、多機能であればあるほど応用がきく。両サービスのワープロ&表計算ソフトのデキを確認しよう。



ThinkFreeでがるオフィス
必要な機能をカバー

表計算であれば、65536行×256列のシートに300個以上の関数、さらにデータの並べ替えや抽出、グループ化、グラフ作成など、一般的なビジネス文書で必要とされる機能はほぼ搭載している。条件付き書き、ピボットテーブル、マクロがないが目立つくらい充実している。

集計作業で不満なし
機能が充実しているだけでなく、「オートSUM」機能を用いて集計表の縦横の合計を一発で計算できるところなど、本家エクセル同様の使い勝手のよさだ



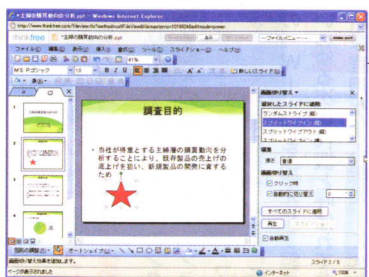
Google Docs&Spreadsheets
基本機能のみを厳選

ワープロ、表計算とも基本的な機能に絞って搭載。ワープロはウィンドウ添付のワードパッド+α(作表や画像挿入など)程度、表計算は作表と集計に並べ替えとグラフ作成が付加されている程度だ。

外出先での集計に効果発揮
エクセルと同じ機能を期待すると落胆するが、外出先でエクセルで作成した集計表を更新したり簡単な集計作業を行ったりするには十分な機能だ

そのほかの特徴

それぞれのサービスにしかない固有の機能は数多くある。「ThinkFreeでがるオフィス」はパワーポイント互換のプレゼンソフトを搭載しているなど、各サービスの特徴をしっかりと把握しておきたい。



ThinkFreeでがるオフィス
プレゼン機能も搭載

ワープロ、表計算に加えて、スライドを作成してスライドショーを実行するプレゼン機能も搭載しているところはGoogle Docs & SpreadsheetsにはないThinkFreeでがるオフィスならではの長所のひとつだ。

パワポ互換のプレゼンソフト
プレゼンのインターフェースや個々の機能はパワーポイントそっくり。データの互換性も高いので、外出先のPCにパワポがインストールされていなかった場合のプレゼンにも役立つ



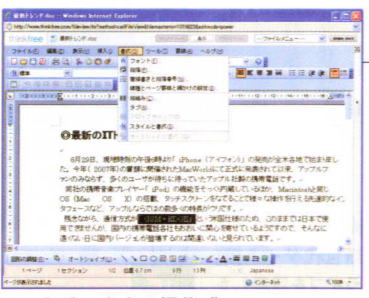
Google Docs&Spreadsheets
共同編集機能が充実

作成した文書ファイルはサイト上に用意されたオンラインストレージに保存する仕組みとなっている(ローカルのディスク上への保存も可能)だけに、複数人が共同で文書を編集する機能が充実している。

チャットしながら表を作成
表計算機能では招待した最大10人までの共同編集者とチャットしながら、同じ表の作成や校正といった作業を行うことができる(ワープロでは未実装)

インターフェースの比較

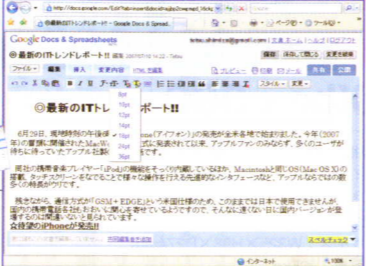
オフィスアプリケーションとしてみるならば、インターフェースは重要な意味を持つ。通常のアプリケーション、特にMSオフィスと互換性のあるインターフェースであれば操作に困ることは少ないはずだ。



ThinkFreeでがるオフィス
MSオフィスそっくり

簡易機能の「クイックエディット」モードはGoogle Docs & Spreadsheetsにも似たインターフェースだが、本格機能の「パワーエディット」モードの方は完全にMSオフィス互換のインターフェース。ワードやエクセルに慣れているなら、すぐにすべての機能を使いこなせるはずだ。

ワードそのままの操作感
ワードの基本的な機能をカバーしているメニューバーやツールバーに加えて、右クリックであらわれるメニューやショートカットキーなどの互換性も高い



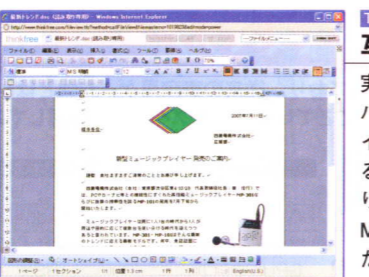
Google Docs&Spreadsheets
ブラウザならではの操作性

ほとんどの操作はツールバーのボタンを用いて行う作りとなっている。キー操作の面では制約の多いブラウザ上で動作させることを前提に、マウス操作だけで使いこなせるように考えられたインターフェースだ。

タブでツールバーを切り替え
(編集) (挿入) といったタブを選ぶと、それぞれのツールバーがあらわれる。MSオフィス2007に新搭載された「リボン」にも似たインターフェースだ

MSオフィスとの互換性

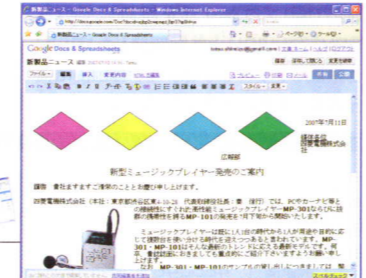
もっとも一般的に使われている統合型オフィスソフトである「MSオフィス」で作られた文書を正しく開いて編集、保存できるかもポイントだ。互換性が高ければ、代替ソフトとして活用することも不可能ではない。



ThinkFreeでがるオフィス
互換性に不満なし

実際に何十個か、ワードやエクセル、パワーポイントで作成したデータファイルを開いてみたが、不都合を感じるケースはきわめて少ない。このあたりは、開発元のThinkFree社が長年、MSオフィス互換ソフトを開発してきた実績がなせるワザといえよう。

図形や画像・表も完璧
テキスト中にオートシェイプ図形や写真や挿入したワード文書もこの通り、ほぼオリジナル通りのレイアウトで再現。エクセルデータも日本語のふりがな関係以外は問題なし



Google Docs&Spreadsheets
データ互換は発展途上

Google Docs & Spreadsheetsとワード・エクセルとのデータ互換性については、実用上十分なレベルに達しているとはいえない。今後の改善に期待したいところだ。

図形や画像に難あり
ワードで作成した文書中に挿入していたオートシェイプ図形や画像が単純にテキスト中に挿入されてしまった。手直しするのも骨が折れそう

ソースネクスト

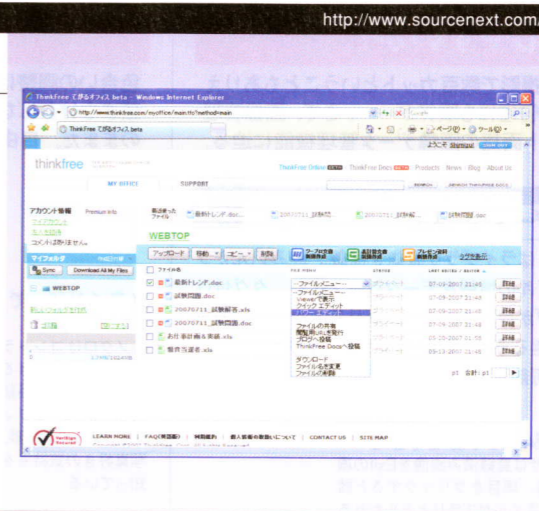
ThinkFreeでがるオフィス

対応OS：Win2000/XP (Vistaも対応予定)、MacOS X 10.4以上、Linux Fedora Core 4以上
対応ブラウザ：Internet Explorer 6.0以上/Firefox 1.0.1以上
対応JRE (Java実行環境)：1.5.x
必要HDD：約200MB以上(作業領域として必要)

お手軽&本格派の2つのソフトを提供

2種類のプログラムが用意されており、簡易的に編集するならAjax版の「クイックエディット」を、より本格的に編集するならJAVA版の「パワーエディット」を選択する。「クイックエディット」は機能が少ない反面、すばやく起動するので、見た目に凝る必要がないメモ書きなどに向いている。

注目ポイント	無料	ワープロ
	表計算	プレゼン



Google

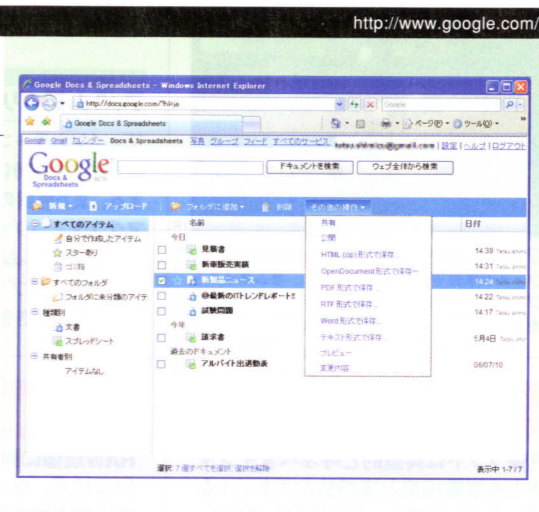
Google Docs&Spreadsheets

対応OS：Win, Mac
対応ブラウザ：Internet Explorer 6.0以上/Firefox 1.0.7, 1.5.0.6以上 /Mozilla 1.7.12以上/Netscape 7.2, 8.0

さまざまな文書形式に対応

ワープロならワード形式、表計算ならエクセル形式での保存が基本だが、さらにPDF形式や国際標準のオープンドキュメント形式にも対応している。用途や配布先に応じた形式で文書の交換や配布を行えるのも、ウェブの検索機能で各種文書形式に対応しているGoogleならではの長所だ。

注目ポイント	無料	ワープロ
	表計算	

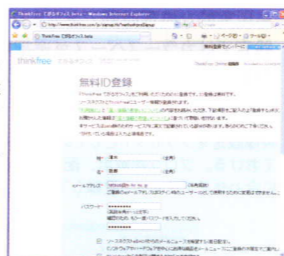


利用するまでの手順は?

ウェブ上で利用するサービスということで、通常のアプリケーションとは利用するまでの手順が異なる。ここでは両サービスの導入手順をチェックしてみよう。

無料IDを申請する

ID申請時に入力するのは自分の姓名とメールアドレスと希望のパスワードだけ。メールアドレスはヤフーやグーグルなどの無料メールアドレスでも構わない



ThinkFreeでがるオフィス IDを用いてログイン

ThinkFreeでがるオフィスを利用するにあたっては、IDとパスワードを入力してログインする必要がある。IDは、「ThinkFree」のWebサイト (<http://www.thinkfree.co.jp/>) の「無料登録」をクリックして「無料ID登録」画面を呼び出せば、即座に無料で入手できる。

Google Docs&Spreadsheets

Googleアカウントでログイン

利用するにあたっては、Googleアカウントのメールアドレスとパスワードの入力が必要となる。もし、すでにGoogleのWebメールサービスである「Gmail」を利用しているのなら、そのアカウントでそのままGoogle Docs & Spreadsheetsも利用可能だ。



アカウントを取得する

Googleの検索画面から「more」→「Docs & Spreadsheets」→「Googleアカウントを作成する」とたどって、「アカウントを作成」画面を呼び出せば、無料でGoogleアカウントを入手できる

ブラウザ上で手軽に使える オフィスアプリケーション

ウェブにつなげるだけで仕事の環境は整うのか?

ウェブアプリケーションは どこまで使えるのか?

MSオフィスや一太郎のようにPCにインストールして使う一般的な形態ではなく、ネットワーク上にあるサーバーからソフトウエアをダウンロードして使う形態を「SaaS (Software as a Service)」と呼ぶ。このコンセプトは以前からあったが、光回線に代表されるブロードバンドの普及によって、いよいよ現実味を帯びてきた。グーグル提供の「Google Docs & Spreadsheets」もソースネクストが提供する

「ThinkFreeでがるオフィス」がその代表格だ。ウェブブラウザ上でワープロや表計算などの機能が動作するオフィスソフトで、どちらも日本語化されており、無料で使えるところも同じだ。ブラウザ上で対話形式の操作を可能とするAjaxあるいはOSと独立して動作するJAVAといった開発環境が支えている。ただし、登場間もない発展途上のサービスであるため、ネットに接続している状態でないと使えないなどの制限があるので、用途に応じて、インストール型のアプリケーションと上手に使い分けたい。

無料	サービスが無料で利用できる(有料版サービスが別途存在することもある)	ワープロ	MSワードのようなワープロ機能が利用できる。
表計算	MSエクセルのような表計算機能が利用できる。	プレゼン	MSパワーポイントのようなプレゼンテーション機能が利用できる。